

普通科目（ 家庭基礎 ）の学習指導案 17 No22

1. 指導目標

- (1) 高齢者疑似体験（耳栓・白内障用ゴーグル・膝用サポータ・車椅子）を通して、高齢者の心身の特徴と生活行動等を理解させ、高齢者の自立した生活に必要な福祉機器等について考えさせる。
- (2) 高齢者の自立した生活に必要な福祉機器等について知的財産の視点から改善点がないか考えさせる。

2. 指導項目・内容

	指導項目・内容	時間（分）	指導上の留意点
導 入	高齢者の心身と生活行動の特徴について考えさせる。	15	高齢者に対する生徒一人一人のイメージを自由に発表させる。（模造紙や付箋紙の利用、班別学習）
展 開	・高齢者疑似体験(耳栓・白内障用ゴーグル・膝用サポータ・車椅子)を実施する。 ・高齢者疑似体験を通して、高齢者の心身の特徴と生活行動等を発表させる。 ・高齢期を自分のこととして捉え、高齢者の自立した生活に必要な福祉機器について考えさせる。 ・知的財産の視点から福祉機器の改善点や新たな福祉機器ないか考えさせる。	80	・具体的な高齢者疑似体験を通して自分の感じたことと課題を発表させる。（模造紙や付箋紙の利用、班別学習） ・福祉機器のカタログ等を利用して課題を解決するための福祉機器を調査する。 ・具体的な改善点や新たな福祉機器について発表させる。（模造紙や付箋紙の利用、班別学習）
整 理	・高齢者の自立した生活に必要な福祉機器について、さらに改善、提案が必要なことを気づかせる。	5	
備 考	「家庭基礎」（大修館書店）P57「高齢期の心身の変化の特徴と生活」 ・高齢者疑似体験に必要な器具の準備。 ・発表をまとめるための模造紙や付箋紙の準備。		